

営農技術情報

一畑作(大豆⑦)一

令和2年 9月18日発行

上川農業改良普及センター名寄支所 TEL01654-2-4524

JA道北なよろ TEL01655-3-2521

JA道北なよろ営農センター TEL01654-3-4307

～コンバイン収穫における大豆の汚粒防止対策～

汚粒とは、大豆の表面が黒ずんだように汚れた子実のことです。汚粒となった場合、等級が低下、程度のひどいものは規格外となります。

汚粒の主な原因は、収穫時の土砂や植物体の水分、機械の摩擦です。

収穫前に行う作業

① 雑草や茎葉の青みが残っている株の抜き取り

ほ場の雑草（特にイヌホオズキやシロザ、アオゲイトウ）、茎葉の青みが残っている「わい化病株」や「異型株」は、収穫前に抜き取りを徹底しましょう。

② コンバインの清掃

小麦等の収穫物の残りが無いよう、コンバインの清掃を念入りに行いましょう。

③ 子実水分を必ず確認する

収穫作業は子実水分20%以下（最適は16%以下）、茎がポキッと折れるようになったら開始しましょう。

収穫時の注意点

① 茎に「ぬめり」を感じたら収穫しない

茎を指でこすったときに、ぬるぬるする「ぬめり」を感じる場合は収穫を避けましょう。

② 朝露や夜露を感じる時は収穫厳禁！

収穫はできるだけ晴天の日に行い、午後4時頃までには収穫を終了しましょう。

③ 刈り高さを確認する（通常は7～8cm）

刈り取り部に土砂を食い込ませないよう、刈り高さを調整しましょう。また、最下着莢位置を確認し、刈り取り損失が少ない場合は12cm程度の高さで収穫しましょう（刈り取り高さが高いほど汚粒は少なくなります）。

④ 収穫速度は0.8m/s程度（乾燥した良好な条件では1.0m/s）

主茎長が短い場合や莢付き子実が多いとき、倒伏程度などに応じて、収穫速度を低くしましょう。

※ダイズシストセンチュウの発生が疑われるほ場（生育期間中に黄化や生育不良）は、収穫を後回しにするか、収穫後にコンバインを洗浄し土砂や残渣を除去しましょう。

◎コンバイン作業時には、周囲の安全を確認しましょう◎
◎点検等は、必ずエンジンを切ってから行いましょう◎